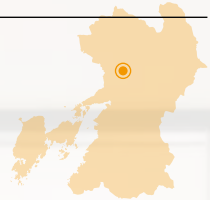


地域と共生するFFG

大学生による
球磨焼酎
販促サークル“Torico”



熊本の大学生が球磨焼酎の蔵元を支援

2022年2月1日(火)、熊本銀行は国立大学法人熊本大学と包括的連携協定を締結し、熊本大学が有する研究成果や技術シーズを、ベンチャー創出やアントレプレナーシップ教育を通して地域の持続的発展に貢献する取り組みを進めています。今回は熊本大学の有志4名によって立ち上げられ、現在も球磨焼酎販売促進サークルとして活動中の「Torico」をご紹介します。

2016年4月、熊本県熊本地方に九州では観測史上最も高い震度7の揺れで甚大な被害をもたらした熊本地震。熊本県内の至るところに被害をもたらしました。その熊本地震から復興を目指していた最中、新型コロナウイルス感染症の脅威で復興途中の事業者はさらなる試練を迎えました。そしてさらに追い打ちをかけるように2020年7月の豪雨災害で球磨川が氾濫。流域の至るところが浸水し、さらなる試練を事業者にもたらしました。そうした中、それらの試練から何度も立ち上がろうと奮闘しているのが球磨焼酎27の蔵元です。

球磨焼酎はわが国で4つしかない地理的表示の産地指定が認められた蒸留酒です。地理的表示の産地指定とは、地域の共有財産である産地名の適切な使用を促進する制度で、地域ブランドの確立によって他の製品との差別化を図ることが認められており、球磨焼酎のほか、杓岐焼酎、琉球焼酎、薩摩焼酎があります。その球磨焼酎を製造する27の蔵元の多くが豪雨災害の被害を受けました。そうした復興を目指す蔵元を応援したいと名乗りをあげたのが熊本大学に在学中だった4人の学生でした。



Toricoの定例活動報告会に参加したみなさん



学生が主体的に提案することを後押しする安部美和准教授(中央)

きっかけは2020年2月に開催された経済産業省が主催する「地域ブランド総選挙」への出場。そのテーマとして採り上げたのが球磨焼酎で、審査の結果、優秀発掘賞という名誉ある賞を受賞したのです。「地域ブランド総選挙」は、地域に暮らす学生が地元産品の魅力をSNSで発信するとともに、新たなビジ

ネスアイデアを競い合うコンテストで、熊本大学生4人の「チーム焼酎に夢中」は、球磨焼酎酒造組合と連携して、球磨焼酎の魅力や今後の商品展開についてのアイデアを提案して高い評価を受けたのです。

熊本大学では2021年4月に教養科目「地方創生プロジェクト演習」のテーマとして球磨焼酎を採り上げ、熊本大学熊本創生推進機構の安部美和准教授(現・東海大学文理融合学部地域社会学科准教授)のもとに38名の受講生が集まり、起業の仕方や地方での事業展開の方法を議論しながら、若い世代に球磨焼酎に関心をもってもらう方法を学生主体で考えました。

1年間の授業に終わりが告げられ、教養科目としての活動はいったん終了することになった2022年3月、また同じ学生のメンバーで活動が続けたいとの想いが学生たちから沸き上がり、今年度から活動をサークル化し、東海大学の学生3名を含め、大学の垣根も超えた活動に進展しています。

現在の大学生は、成人した時点でコロナ禍であったことから、お酒と接する機会が他の

世代以上に減少しており、ビールや日本酒、焼酎などお酒の消費量は著しく減少しています。つまり大学生が球磨焼酎を楽しむ機会自体がなくなっているのです。このままでは伝統的な球磨焼酎が廃れてしまうことになる、と危機感を持った大学生が、球磨焼酎をもっとおしやれに楽しめる飲み方を紹介するなど、若い世代に球磨焼酎の知名度を上げる取り組みを日々考えています。

メンバー総勢20名は、それぞれ販促部門、広報部門、観光部門の3つの部門に分かれて活動しており、お酒に弱い学生や未成年の学生はお酒と直接かわらない広報・観光を担当するなど、分業制を敷いた活動をしています。そして月に1回、サクラマチクマモト5階の「Eggplant KUMAMOTO 桜町総合就職プラットホーム」において活動報告会を実施しています。

2022年11月の活動報告会では、販促部門からはパートナー企業とのコラボ企画で焼酎を使ったカクテル図案のアクセサリーを制作、海外からの渡航者が増加中の福岡市の大濠公園で販売し、予想を超える売り上げが

あったことが発表され、広報部門からは販促部門が考案した全27蔵元のお酒を使ったカクテルレシピや、熊本市の繁華街で球磨焼酎を味わえるバルを紹介するコンテンツをInstagramへの投稿数346件、フォロワー数1,909人（ともに12月12日現在）など、ファンは着実に増加しつつあることが発表されました。また現在Toricoでは「ガラ・チョクデザインコンペティション2022」と題して球磨焼酎の伝統的な酒器である「ガラ・チョク」を自由にデザインするコンテストを一般公募で実施しています（一般公募は2022年12月26日で締め切り）。

Toricoの活動の目的はあくまでも球磨焼酎の魅力を発信して、若い世代に球磨焼酎の虜（とりこ）になってもらうこと。これまでこのToricoを引っ張ってきた4年生も3月で卒業します。ここまでの集大成としてToricoでは「球磨焼酎カクテル冊子」をまとめました。球磨焼酎全27蔵元の焼酎を使ったカクテルレシピを中心に、人吉・球磨地方の文化・観光情報や地域の方々のコミュニケーションで

得た有益な情報などが満載されています。11月の活動報告会では新たなToricoメンバー2人が参加しました。地元の誇りである球磨焼酎の知名度を上げたい、ふるさと熊本を元気にしたい、という想いが集まって、Toricoはこれからも自主的な学生によって活動が続けられることでしょう。



Toricoの定例活動報告会の様子

ToricoのInstagramはこちら ▶



こちらの記事に関するお問い合わせ

熊本銀行ソリューション営業部 金森

電話番号：096-385-1280

